

# 災害用支援物資を格安で買えるサブスク Uber Eats

## 目 概要

災害時に使えるサービスは平常時でも使えるサービスであったほうが、広く使ってもらえる支援物資は、災害が発生したときにしか使われないため、ムダに備蓄してあったり、廃棄したりすることが多い？

なので、普段から、支援物資になり得るものを買えるサービスとして提供して、災害時には、それを贈ることもできるサービスがあったら、支援物資がもっと円滑に、効果的にできそう

## 目 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

### 災害支援物資の課題

- 支援物資の輸送プロセスが複雑で、支援物資の供給ができない。
  - 近場に支援物資がなく、輸送が難しい。
- cf. [災害時の支援物資輸送の課題とICTを用いた物流革命](#)
- 災害支援物の廃棄ロスがある。
- cf. [その時、何をどう届けるか？ 災害救援物資の課題と対策を考える](#)

東日本大震災のときと熊本震災のときでは支援物資の供給方法が違った。  
東日本大震災ではプル型、熊本震災ではプッシュ型を採用した。  
(東日本の経験を活かして、プッシュ型にした)

#### プル型 (要望・意見が出てから輸送する)

- メリット：ニーズに 100 応えることができる。
- デメリット：届けるのが遅れる。

#### プッシュ型 (事前に需要を予測する)

- メリット：すぐに物資を提供できる。
- デメリット：現場の仕分け作業が大変。欲しいものが届かない。

#### 災害時の救援物資にかかる課題の調査・議論と対策の検討

- 欲しくないものが届いてしまう。欲しいものが届いて欲しい。
  - 買うもの (手に入れたいもの) は自分で選びたい。

### この課題をどうしたいか

- ニーズに合わせて早く物資を支援したい。

## 目 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

### 物流インフラの問題

- まず、各地域に備蓄場所を設ける。
- 備蓄のネットワークを管理する。(備蓄物は RFID など管理する)
- 賞味期限が近くなった備蓄物をネットワークの近い地域間で販売する <- ここにサブスクモデルがある。  
(メモ：Uber みたいなイメージになる)

### 物流スピード&ニーズの問題

- 上述の通り各地域に備蓄場所を設けているので、すぐに供給できる。
- IT サービスで被災者に買うものを選択してもらう。
  - データを集計することでニーズを事前予測できるようになる？ -> 備蓄するものがわかってくる。
- 各地域で備蓄場所を設け、ネットワークを張っているため、中央集権的にものを管理する必要がなくなる。

- 物資がすぐに届けられる。
- 意思決定を各地域でできる（人づてで連携を取るのではなく、データで連携を取れる）
  - 今 A 地区では〇〇が足りない、みたいなものをデータ（ファクト）で管理できるので、
  - B地区は〇〇を豊富に保有しているので流してください、みたいなことを人を介さず行える。



**類似（独創性）**：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

- 災害時にスポットで立ち上がるサービスは多数存在するが（例：ウクライナの支援サービスなど）、
- 平常時も災害時も常時開設しているサービスは見当たらない。



**有意性**：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

スポットで立ち上がるサービスと比べて

- 平常時も同じような体験をすることで、災害時も初動が遅れることなく、支援を行える。
- スポットサービスと違い、過去の災害時データを有効活用できる。



**実現方法**：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

### サービス

- Web サービスとして立ち上げる。災害時も使えるようスマホ向けのサービスになる。
- サブスクリプション方式で利用者は月額課金をする。
  - 平常時は、近辺地域の備蓄で、消費期限が近いものを、配送され、それを食べたり使ったりする。
  - 災害時は、近辺地域に限らず、被災地で備蓄が消費される。
    - 課金の一部が災害支援に自動的に充てられるイメージ？
    - RECOG みたいなイメージになるのかな？

### インフラ（備蓄倉庫の話）

- 備蓄させてくれる場所を募集する。
  - 避難場所や空き家など（災害に耐えられるような何らかの基準は設ける）
- 場所提供者には場所代 + インセンティブを払う。
- (+災害時の物資輸送代行も兼ねる)



**課題・障壁**：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

### 課題

- 格安でどう非常食を手に入れるのか。
  - コスト面
    - 全国の備蓄倉庫に必要なため、一括で購入できる。←ディスカウントが効く。
  - メーカー面
    - ESG 活動アピール。
    - 災害時に役に立つ製品を作っているというアピールができる。
- 利用者へのメリットの説明
  - 格安で非常食が手に入る。
  - 災害支援に役立っているんだという悦に入る感じ。



**期間・コスト**：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

### 期間

- アプリの開発に最大 6 ヶ月。

- ・その後、各方面とのネゴ&実証実験などで1年くらい。

## コスト

- ・概算 1,000 万



未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

災害時に食糧難で困る人が減る。

そのサポートをサブスクで気軽にできる。

食品メーカーも社会に対して貢献できる。

自分が住んでいる地域と、その近辺の地域に貢献しているんだという貢献感を得ることができる。